

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	25	合唱	4単位	通年
指導講師	有銘 哲也 / 鶴川 達也			
授業のテーマ	言葉と声と音との調和。			
授業計画及び内容	<p>呼吸法・発声法から斉唱・合唱までを指導します。</p> <p>邦人の作品、宗教曲など日本語の作品から英語ラテン語など、今まで経験していない言語による合唱も体験します。</p> <p>(演奏発表予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サマーコンサート 2026年7月21日(火) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール ●国立祭 KMA Proms 2026年12月16日(水) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール ●オアシスライブ 会場：国立音楽院1Fオアシス 			
教材・参考書				
成績評価の方法	学習姿勢と意欲、クラスでの発表、出席率			
履修上の指示事項				

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	26	東大式・音響×AIワークショップ(隔週)	4単位	通年
指導講師	秋田 真宏			
授業のテーマ	音を「波」としてとらえる視点を出発点に、音響工学および基礎的な数理を、実験・製作・比較実演を通じて体験的に理解します。			
授業計画及び内容	<p>内容例(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■格付けチェック「イタリア製オールドヴァイオリン(5700万円) vs 中国製新作ヴァイオリン(10万円)」の比較実演 キーワード：振動モード、ヘテロダイン、高速フーリエ変換 ■格付けチェック「AIが作った楽曲vs 人間が作った楽曲」 キーワード：LLM、ディフュージョンモデル、トランスフォーマー ■サブベース(超低音)の世界 ~30Hzの音を「体感」してみよう~ キーワード：高調波歪み、過渡応答特性 ■手作りナチュラルホルンを作ってみよう キーワード：開口端補正、自然倍音列 ■MRI・ジェットエンジン・プリンター…日常から見つける「楽器じゃない楽器」グランプリ キーワード：磁歪、磁励音 ■格付けチェック「フランス製オールドヴァイオリン弓(700万円) vs 中国製ヴァイオリン弓(1万円)」の比較実演 キーワード：周波数特性、スペクトログラム解析 <p>他</p>			
教材・参考書				
成績評価の方法				
履修上の指示事項				

【学科目区分：音響デザイン - PA/録音/イベント/音楽ビジネス/映像/映像音楽】

番号：学科目名	164	映像制作入門	6単位	通年
指導講師	湯川 寛行			
授業のテーマ	映像編集ソフトの基本的な操作方法を学ぶ。			
授業計画及び内容	<p>初心者を対象にコンピューターを使った映像編集ソフトの基本的な使い方を教えます。</p> <p>基本操作と映像データの基礎知識を身に付け、オリジナルの映像作品を制作することを目指します。</p> <p>コンピューターの操作にあまり慣れていない人から映像編集ソフトを持っているが使いこなせていないという人まで幅広くフォローします。</p>			
教材・参考書	データ保存用にUSBメモリ、ヘッドフォン（イヤフォン可）、筆記用具をご用意ください。			
成績評価の方法	出席率			
履修上の指示事項	特になし			

【学科目区分：コンピュータミュージック】

番号：学科目名	165	コンピュータミュージック実技 1年	16単位	通年
指導講師	関野 元規 / 福島 英樹			
授業のテーマ	パソコンにおけるDTM、DAWソフトを使い、オリジナル楽曲制作や音楽制作全般の流れを学ぶ。作曲、アレンジ、演奏（または打ち込み）、ミックス・マスタリングまでの知識習得とDTM・DAWテクニックを高め、より高度なオリジナル楽曲制作を目標とする。指導対象者は初心者からプロ志望、またはプロの音楽家、作編曲家、アーティスト、JPOP音楽作家、CM音楽作家、ゲームミュージッククリエイター、シンガーソングライターといった広範囲な音楽職業に対応できる力を養う。			
受講対象	コンピュータミュージックコース1、2年生の必修実技。 他専攻学科の履修は実技レッスン（副科）の扱いになります。			
授業計画及び内容	<p>DTM・DAW基礎実習：MIDIの基礎的な知識習得、DAWにおける波形編集やエフェクター、ミックステクニック、マスタリングまでの流れを習得。また作曲、アレンジの基本的な技術習得。オリジナル楽曲制作。</p> <p>サウンド・プロフェッショナル：上記DTM・DAW基礎実習、サウンド・クリエーションで培った技術を統合し、自分のアイデアを音楽作品としてまとめることを目指す。ミックス、マスタリング、外部スタジオとのリンクなど、サウンドプロデュースに必要な知識やツールの勉強を通じて、最終的に自分の楽曲をより高度にプロデュースする力を身につける（2年生、研究生対象）。</p> <p>（発表予定） ●国立祭 SHOW CASE LIVE 2026年12月15日（火） 会場：KMAパラダイスホール</p>			
教材・参考書	適宜資料配布			
成績評価の方法	作品提出と発表			
履修上の指示事項	コンピュータミュージックの実技に相当します。 その他専攻生が受講する場合は実技科目に相当します。			

【学科目区分：コンピュータミュージック】

番号：学科目名	166	コンピュータミュージック実技 2年	16単位	通年
指導講師	関野 元規 / 福島 英樹			
授業のテーマ	パソコンにおけるDTM、DAWソフトを使い、オリジナル楽曲制作や音楽制作全般の流れを学ぶ。作曲、アレンジ、演奏（または打ち込み）、ミックス・マスタリングまでの知識習得とDTM・DAWテクニックを高め、より高度なオリジナル楽曲制作を目標とする。指導対象者は初心者からプロ志望、またはプロの音楽家、作編曲家、アーティスト、JPOP音楽作家、CM音楽作家、ゲームミュージッククリエイター、シンガーソングライターといった広範囲な音楽職業に対応できる力を養う。			
受講対象	コンピュータミュージックコース1、2年生の必修実技。 他専攻学科の履修は実技レッスン（副科）の扱いになります。			
授業計画及び内容	<p>DTM・DAW基礎実習：MIDIの基礎的な知識習得、DAWにおける波形編集やエフェクター、ミックステクニック、マスタリングまでの流れを習得。また作曲、アレンジの基本的な技術習得。オリジナル楽曲制作。</p> <p>サウンド・プロフェッショナル：上記DTM・DAW基礎実習、サウンド・クリエーションで培った技術を統合し、自分のアイデアを音楽作品としてまとめることを目指す。ミックス、マスタリング、外部スタジオとのリンケージなど、サウンドプロデュースに必要な知識やツールの勉強を通じて、最終的に自分の楽曲をより高度にプロデュースする力を身につける（2年生、研究生対象）。</p>			
教材・参考書	適宜資料配布			
成績評価の方法	作品提出と発表			
履修上の指示事項	コンピュータミュージックの実技に相当します。 その他専攻生が受講する場合は実技科目に相当します。			

【学科目区分：コンピュータミュージック】

番号：学科目名	167	ボーカロイド	8単位	通年
指導講師	東 佑樹			
授業のテーマ	ボーカロイドの操作方法を学びながらDAWソフトで楽曲を制作していきます。			
授業計画及び内容	<p>ボーカロイドについて知識と操作を学習します。 学校では主に初音ミクV3～4を使用して授業を進行していきますが、ご自身で使っているボーカロイドソフトがあればそちらを利用していただいてもかまいません。 またボーカロイドを通して初めてPCに触れる方のために最初はPC周りの基本的な操作などから教えていきます。</p> <p>最終的にはDAWソフトを使ってボーカロイド楽曲を制作していきます。 Logic、Cubase、Studio OneなどDAWソフトの指定はありません。</p>			
教材・参考書	適宜資料配布			
成績評価の方法	練習曲のデータ制作			
履修上の指示事項	イヤフォンかヘッドフォン、USBメモリなどをご用意ください。			

【学科目区分：コンピュータミュージック】

番号：学科目名	168	シンセサイザー講座	4単位	通年
指導講師	相原 耕治			
授業のテーマ	シンセサイザーの基本を理解し、DAWのシンセサイザーを用いてイメージする音を創れる力を身につける。機械が苦手な方にもわかりやすく説明する。			
授業計画及び内容	<p>音の基本、特に倍音について学習。 シンセサイザーの歴史と共に、各種音源方式を学習。</p> <p>1：倍音加算方式 2：減算方式（フィルター式・アナログシンセサイザー） 3：FM方式 4：PCM方式（サンプリング、ウェーブテーブル） 5：フィジカルモデリング方式（物理音源） 6：グラニューラーシンセシス 7：その他の方式（ウェーブシェーパー、PD音源、スペクトルシンセシスなど） 8：音声合成と歌声合成とボコーダー 9：コントローラーによる分類（ウィンド、ドラム、ギター、リズムマシンなど）</p> <p>これらで学習した知識は、DAWのシンセサイザーで、音を選ぶだけでなく、イチからイメージの音を作り出せる力になる。そのため絵と同じように音のデッサンやスケッチも行う。</p> <p>学習した知識と技術は他のDAWでの授業に活かすようにする。</p>			
教材・参考書	必要であればスタイルノート出版 相原耕治著「シンセサイザーがわかる本」を参照。プロジェクターでの説明が多めのため、非公開を条件に受講者の学習目的でのみ画面の写真撮影可とします。			
成績評価の方法	授業の課題と出席日			
履修上の指示事項	学習内容は毎回積み重ねとなる為、欠席した場合は出席者に授業内容の情報を提供してもらえることが望ましい。または教材を参照。			

【学科目区分：コンピュータミュージック】

番号：学科目名	169	WEBコンテンツ制作	4単位	通年
指導講師	東 佑樹			
授業のテーマ	コンピューター(PC)とDAWソフトで音楽的な視点と知識を。そして、映像編集の基礎を学ぶためiMovie、Keynoteを使用し、最終的には相互のアイデアを柔軟に発想、具現化する力を伸ばしつつ、自身で配信まで行える(Youtuber,V-tuberなど)よう、昨今では欠かせない総合力を伸ばします。			
授業計画及び内容	<p>実際の授業ではPCの基礎的操作方法から、次にDawの使用方法、映像編集ソフト使用法、効果音制作を通して、作曲の基礎まで丁寧に教えていくので未経験の方も歓迎です。 具体的には下記のような流れで授業を進めていきます。</p> <p>○PCの扱い方 →ソフトの起動から、作成ファイルの保存法、ソフトの互換性のあるショートカット（コピー、ペースト、アンドゥ、リドゥ）など、</p> <p>○DAW、映像編集ソフトの使い方と実践 →最初は効果音貼り付け、教材を使用したの編集基礎を経て、ジングル的なショートソング作成、映像に関しては著作権</p> <p>○コンテンツの世界観把握 →楽曲の方向性を自主的に連想、発想させ、（課題）楽曲を制作する。</p> <p>○シーン別によるコンセプトの変更。 同コンテンツ内で場面の違う楽曲を作成させる。</p> <p>○最終的に1コンテンツ（生徒全員共通）音、映像を一つの作品として提出。「音と映像の相乗効果や重要性」を体感させる。</p>			
教材・参考書	適宜資料配布			
成績評価の方法	出席、授業態度			
履修上の指示事項	特になし			

【学科目区分：コンピュータミュージック】

番号：学科目名	170	M I D I 検定対策講座	2単位	集中講座
指導講師	相原 耕治			
授業のテーマ	4級は取得を目的とし、3級・2級筆記は試験対策の学習。			
受講対象	M I D I 検定の各級を取得したい方、またはその内容を学習したい方。専攻学科は問いません。			
授業計画及び内容	<p>MIDI検定は一般社団法人 音楽電子事業協会が行っている検定制度です。 コンピューターとDAWで音楽制作を行う方から、シンセサイザーや電子オルガンなどの電子楽器を扱う方へ向けた検定で、現在4級、3級、2級筆記、2級実技、1級までのグレードがあります。</p> <p>この講座は「4級取得1日集中講座」、12月に行われる3級筆記試験への「3級対策集中講座」です。</p> <p>4級がなくても3級は受験可能ですが、2級筆記以上は下の級を取得していることが条件になります。 (3級と2級筆記の同時受験は可能)</p> <p>なお、2級筆記、2級実技対策、1級については教務と掛け合い相談。</p>			
教材・参考書	4級：ミュージックメディア入門 (MIDI検定4級対応) 3級2級：ミュージッククリエイターハンドブック (3級2級1級共通のMIDI検定公式ガイドブック)			
成績評価の方法	4級は受講時間と4級試験合格。3級は受講と受験と結果。			
履修上の指示事項	4級は1日で取得可能ですが、300分の受講時間が条件なので遅刻しないこと。 MIDI検定ガイドブックの他に、4級取得はライセンスカード代1,200円(希望者のみ)、3級以上の受験には受験申込手続きと受験料金が別途必要です。			

【学科目区分：コンピュータミュージック】

番号：学科目名	171	歌ってみたを投稿しよう～ゼロから始める歌い手講座～		
指導講師	伊藤 貴也			
授業のテーマ				
授業計画及び内容				
教材・参考書				
成績評価の方法				
履修上の指示				